

# 一般会計2.0%増の624億円

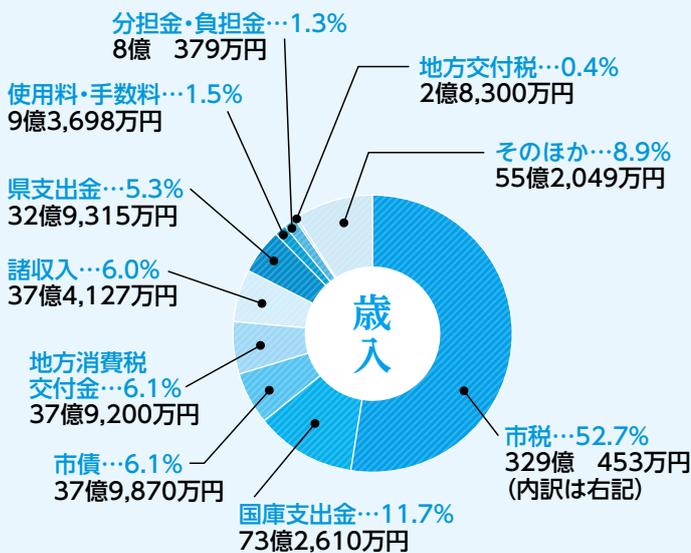
令和4年度予算案が3月定例市議会で可決されました。今回は、予算の概要や主な使い道などについてお知らせします(1万円未満を四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない箇所があります)。

本市の財政は空港関連税収を背景として全国有数の財政力を有し、各種財政指標から判断されるように財政の健全性が維持されています。しかしながら、将来を見据えて取り組んでいるまちづくりや高齢化対策、子育て施策の拡充などにより、公債費や扶助費などの義務的経費が増加傾向にあります。また、公共施設の長寿命化や更新を行うにあたり多額の財政負担が見込まれるとともに、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化に伴い、市税収入がコロナ禍前の水準に回復するには時間を要する状況であることから、より一層の効率的な財政運営が求められています。

そのような中、今年度の予算編成では成田市総合計画「NARITAみらいプラン」に掲げた「住んでよし 働いてよし 訪れてよしの生涯を完結できる空の港まちなりた」の実現に向け、事業の選択と集中を行うことにより、アフターコロナを見据え、観光業、商工業、農業に対する経済対策などを強力に推進することとし、限られた財源を重点的かつ効率的に配分しました。

今年度の当初予算は、一般会計は624億円で、前年度と比較すると12億円(2.0%)の増額。特別会計と水道事業会計などを合わせた予算総額は947億8,559万4,000円となり、前年度より18億4,226万5,000円(2.0%)の増額となっています。

## 一般会計歳入



## 624億円

市税(全体の52.7%)は329億453万円で、前年度比10億1,873万円の増収となっています。また、国庫支出金(11.7%)は73億2,610万円となり、2億3,631万円の増額、市債(6.1%)は37億9,870万円で、1,000万円の減額となっています。

### 市民1人が納める市税は約25万円です

市民の皆さんが今年度に納める予定の市税の内訳は、右記の通りです。これを市民1人当たりへ換算すると約25万円となります。

$$\frac{\text{市税予算額 } 329\text{億}453\text{万円}}{\text{令和4年2月末日現在人口 } 13\text{万}19\text{人}} = \text{約}25\text{万円}$$

## 市税の内訳



### 固定資産税

212億3,189万円



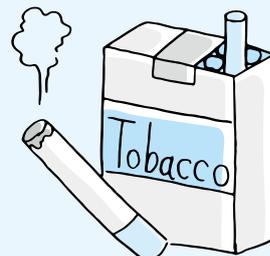
### 個人市民税

80億 586万円



### 法人市民税

19億8,947万円



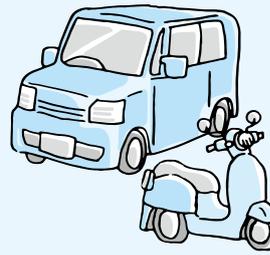
### 市たばこ税

10億8,771万円



### 都市計画税

2億1,378万円



### その他(軽自動車税など)

3億7,582万円

## 特別会計

233億3,289万円

特別会計とは、特定事業を行う場合に、一般会計と区分して経理する必要のあるときに設ける会計です。市では、次の6会計を設けています。

### 国民健康保険(事業勘定)

128億 234万円

被保険者の疾病、負傷、出産、死亡などに対し、必要な保険給付を行います。

### 国民健康保険(施設勘定)

1億 727万円

医療サービスの向上を図るため、国保大栄診療所で被保険者などに対し、診療を行います。

### 公設地方卸売市場

9億1,376万円

青果物、水産物、生鮮食料品などを

安定した価格で供給し、市民生活の向上を図ります。

### 介護保険

79億 433万円

被保険者の要介護度などに応じて、必要な保険給付を行います。

### 農業集落排水事業

2億 868万円

下総・大栄地区の農業集落に排水施設を整備し、生活環境の改善を図ります。

### 後期高齢者医療

13億9,650万円

後期高齢者医療制度加入者の保険料徴収や保険証の交付などを行います。

## 地方公営企業会計

90億5,271万円

地方公営企業会計とは、地方公共団体が経営する公益的な事業を行うために設けられた会計です。市では、次の3会計を設けています(各会計とも収益

的支出と資本的支出を合計した額)。

### 水道事業

34億4,130万円

水道施設を整備し、安全で安心な水の安定供給を行います。

### 簡易水道事業

5億4,588万円

水道施設を整備し、下総・大栄地区の一部への安全で安心な水の安定供給を行います。

### 下水道事業

50億6,553万円

都市排水施設の整備を行い、生活環境の改善を図ります。



新市場に新鮮な食材が並び

## 市民1人当たりに使われる歳出の内訳



民生費 16.2万円



教育費 7.8万円



総務費 6.1万円



土木費 3.4万円

衛生費 4.6万円

公債費 4.3万円

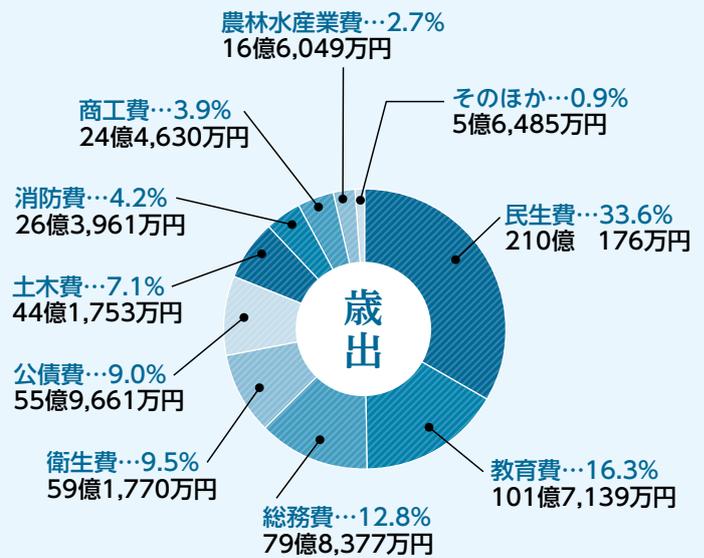
消防費 2.0万円

商工費 1.9万円

農林水産業費 1.3万円

そのほか 0.4万円

## 一般会計歳出



624億円

歳出の目的別分類では、民生費が前年度比4億6,666万円増の210億176万円(全体の33.6%)で最も多くなっていて、生活保護扶助費、児童手当支給事業、私立保育園等運営委託事業などに充てられます。2番目は教育費で、前年度比1億1,854万円増の101億7,139万円(16.3%)となり、小学校長寿命化改良事業、学校給食事業などに充てられます。3番目は総務費で、前年度比2億7,369万円増の79億8,377万円(12.8%)となっていて、民家防音家屋等維持管理費補助事業、航空機騒音地域補助事業、急傾斜地崩壊対策事業などに充てられます。

### 市民1人当たり約48万円が使われます

今年度、市民の皆さんに使われる予定の歳出の内訳は左記の通りです。市民1人当たり約48万円となります。

$$\frac{\text{一般会計予算額 } 624\text{億円}}{\text{令和4年2月末日現在人口 } 13\text{万19人}} = \text{約48万円}$$